

奥只見 未丈・日向倉山往復

尾木原

【日時】 2007年4月8日(日)

【メンバー】L藤本、栗原、池田、尾木原

前夜発で道の駅で仮眠をとった後、銀山平に向かう。銀山平で前日から入山していたメンバーと合流し、尾根歩きパーティーと私達スキーパーティーに別れて出発。奥只見湖の北岸をスキー担いで歩き、日向倉沢末端を渡って日向倉沢左岸尾根に取り付く。急な登りをつぼ足で高度を稼ぐ。1000メートルあたりを過ぎたあたりから斜度が緩くなり、シールを付けて進む。天気は快晴で奥只見湖がよく見える。久しぶりの山行で全身から汗が噴き出すが、とても心地よい。日向倉山の山頂が近づく頃、左側の尾根を尾根歩きパーティーが歩くのが見える。山頂直下はなだらかな斜面で開放感があって、気分がいい。山頂には歩きパーティーがすでに到着していた。未丈岳からやってくる仲間のパーティーが小さく見える。私達は行きの尾根コースではなく日向倉沢を滑降することに決める。降り口は少し急斜面で躊躇するが、雪は適度の腐っており、滑りやすい。中流部までは雪は少々重いが快適に滑降する。下流部にさしかかると、思った通り(?!)の高巻きが待っていた。時にスキーを担いでザクザクの雪の急斜面のラバースを繰り返すこと計4回。やっとのことで左岸尾根の取り付きに戻ってきた。

【行程】 4月8日 銀山平(7:30)～日向倉山(11:00-11:20)～日向倉沢～銀山平(13:30)

【地図】 奥只見

